



評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE_Sapporo2014v1.2

■使用評価ソフト: CASBEE札幌2014 (ver.1.3)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)札幌市中央区北1条東3丁目計画	階数	地上14F
建設地	札幌市中央区北1条東3丁目2-6	構造	RC造
用途地域	商業地域、準防火地域	平均居住人員	160人
気候区分	1地域	年間使用時間	8,760時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2017年3月 予定	評価の実施日	2015年8月8日
敷地面積	803㎡	作成者	杉生建築設計LAB
建築面積	349㎡	確認日	2015年8月8日
延床面積	3,827㎡	確認者	杉生建築設計LAB

「配慮シート」に外観パースを張り付けて下さい。

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.6

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B: ★★★★★ B+: ★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値: 100% (184 kg-CO₂/年・m²)

②建築物の取組み: 72% (138 kg-CO₂/年・m²)

③上記+②以外の: 72%

④上記+: 72%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.2

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.3

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.2

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 3.0

LR 環境負荷低減性

LR のスコア = 3.6

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.3

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.8

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.4

3 設計上の配慮事項		
<p>総合</p> <ul style="list-style-type: none"> 「エネルギーの使用の合理化に関する法律」の新基準(H25基準)、日本住宅性能表示基準の省エネルギー対策等級4を満たす程、省エネルギー対策を充実させている。 ノンフロン断熱材を全面的に使用するなど、環境に配慮している。 	<p>A 省エネルギー</p> <ul style="list-style-type: none"> 「エネルギーの使用の合理化に関する法律」を新基準(H25基準)で取得している。 効率の優れた潜熱回収型給湯設備の使用など、省エネルギー効果が期待できる設備を採用している。 	
<p>B 省資源等</p> <ul style="list-style-type: none"> ODP=0、GWP=11程度のノンフロン断熱材を使用している。 	<p>C 緑化</p> <ul style="list-style-type: none"> 札幌市緑の保全と創出に関する条例に基づいた緑化計画基準値に20/100を加えた数値を満たす計画としている。 基調となる樹種は、耐陰性・耐寒性のある樹種を選定。 	<p>D 雪処理</p> <ul style="list-style-type: none"> 歩道状空地、敷地内車路、通路、屋外階段をロードヒーティング敷設とし、冬季間の除排雪作業の軽減に努めています。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと

■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される